

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【公表番号】特表2016-510599(P2016-510599A)  
 【公表日】平成28年4月11日 (2016.4.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-022  
 【出願番号】特願2015-562479(P2015-562479)  
 【国際特許分類】

A 2 3 G 4/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 G 3/30

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月10日 (2017.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チューインガムの感覚刺激特性を改良するためのソルビトール粉末を使用する方法であって、該ソルビトール粉末が、レッチェの装置を使用する粒度分析によって決定される以下の粒度分布；

0 重量%から 1 重量%の 400 ミクロンを超える粒子、  
 40 重量%から 45 重量%の 250 ミクロンと 400 ミクロンとの間の粒子、  
 48 重量%から 53 重量%の 100 ミクロンと 250 ミクロンとの間の粒子、  
 3.5 重量%から 8 重量%の 75 ミクロンと 100 ミクロンとの間の粒子、および  
 0 重量%から 2.5 重量%の 75 ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が 100 重量%であるように有することを特徴とする、  
方法。

【請求項 2】

前記感覚刺激特性が、イニシャルバイト、質感、甘味および/またはフレーバー強度から選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ソルビトール粉末が、以下の粒度分布；

0 重量%から 1 重量%の 400 ミクロンを超える粒子、  
 41 重量%から 44 重量%の 250 ミクロンと 400 ミクロンとの間の粒子、  
 49 重量%から 52 重量%の 100 ミクロンと 250 ミクロンとの間の粒子、  
 4 重量%から 6 重量%の 75 ミクロンと 100 ミクロンの間との粒子、および  
 0 重量%から 1.5 重量%の 75 ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が 100 重量%であるように有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ソルビトール粉末が、結晶性ソルビトール材料のミリングおよび/またはスクリーニングによって得られることを特徴とする、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

チューインガムの感覚刺激特性を改良するため又は香味料の含有量を減らすための方法であって、以下の工程；

レッチェの装置を使用する粒度分析によって決定される以下の粒度分布：

- 0 重量%から1 重量%の4 0 0ミクロンを超える粒子、
- 4 0 重量%から4 5 重量%の2 5 0ミクロンと4 0 0ミクロンとの間の粒子、
- 4 8 重量%から5 3 重量%の1 0 0ミクロンと2 5 0ミクロンとの間の粒子、
- 3 . 5 重量%から8 重量%の7 5ミクロンと1 0 0ミクロンとの間の粒子、および
- 0 重量%から2 . 5 重量%の7 5ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が1 0 0 重量%であるように有する、少なくとも1つのソルビトール粉末をチューインガム組成物に加える工程、および

チューインガムを得る工程

を含む、

方法。

【請求項6】

前記加えたソルビトール粉末が、前記チューインガムの5～85重量%を占めることを特徴とする、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

チューインガムを製造するための方法であって、以下の工程：

レッチェの装置を使用する粒度分析によって決定される以下の粒度分布：

- 0 重量%から1 重量%の4 0 0ミクロンを超える粒子、
- 4 0 重量%から4 5 重量%の2 5 0ミクロンと4 0 0ミクロンとの間の粒子、
- 4 8 重量%から5 3 重量%の1 0 0ミクロンと2 5 0ミクロンとの間の粒子、
- 3 . 5 重量%から8 重量%の7 5ミクロンと1 0 0ミクロンとの間の粒子、および
- 0 重量%から2 . 5 重量%の7 5ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が1 0 0 重量%であるように有するソルビトール粉末と、ガム基礎剤とを混合する工程

を含む、

方法。

【請求項8】

可塑剤および/または香味料を加える工程をさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

レッチェの装置を使用する粒度分析によって決定される以下の粒度分布：

- 0 重量%から1 重量%の4 0 0ミクロンを超える粒子、
- 4 0 重量%から4 5 重量%の2 5 0ミクロンと4 0 0ミクロンとの間の粒子、
- 4 8 重量%から5 3 重量%の1 0 0ミクロンと2 5 0ミクロンとの間の粒子、
- 3 . 5 重量%から8 重量%の7 5ミクロンと1 0 0ミクロンとの間の粒子、および
- 0 重量%から2 . 5 重量%の7 5ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が1 0 0 重量%であるように有するソルビトール粉末と、ガム基礎剤とを含む、チューインガム。

【請求項10】

可塑剤および/または香味料をさらに含む、請求項9に記載のチューインガム。

【請求項11】

2%から85% (w/w) の前記ソルビトール粉末を含むことを特徴とする、請求項9または10に記載のチューインガム。

【請求項12】

レッチェの装置を使用する粒度分析によって決定される以下の粒度分布：

- 0 重量%から1 重量%の4 0 0ミクロンを超える粒子、
- 4 0 重量%から4 5 重量%の2 5 0ミクロンと4 0 0ミクロンとの間の粒子、
- 4 8 重量%から5 3 重量%の1 0 0ミクロンと2 5 0ミクロンとの間の粒子、
- 3 . 5 重量%から8 重量%の7 5ミクロンと1 0 0ミクロンとの間の粒子、および
- 0 重量%から2 . 5 重量%の7 5ミクロンを下回る粒子

を各種の画分の総和が1 0 0 重量%であるように有する、

ソルビトール粉末。